

公益財団法人不老会会員のご家族の皆様へ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	鏡視下頸部郭清術の術式開発と安全性・同等性に関する研究
研究機関名及び 研究機関の長 (試料・情報の管理 責任者)	愛知医科大学医学部 医学部長 笠井謙次
研究責任者	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 講師 丸尾 貴志
試料・情報の利用目的 及び利用方法	<p>〔利用目的〕</p> <p>内視鏡下甲状腺手術(VANS 法)のメリットは、創部が外見的に目立たない、手術後の入院期間が短くなる、従来の術式に比べ、疼痛緩和の可能性がある点です。本技術を癌治療である頸部郭清術に応用できれば、入院期間の短縮や疼痛軽減の可能性があり、より多くの方の癌治療に貢献できます。</p> <p>肉眼解剖または組織学的染色を用いて、VANS 技術を応用した鏡視下頸部郭清術が、従来のものと同じ精度で施行できることを確認します。</p> <p>〔対象となる患者さん〕</p> <p>研究実施承認日から 2025 年 3 月 31 日までに医学教育に使用される御献体</p> <p>〔研究期間〕</p> <p>研究実施承認日 ~ 2025 年 6 月 30 日</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>VANS 法による鏡視下頸部郭清を行った後、郭清範囲内に残存するリンパ節の数を計測します。従来の頸部郭清で採取できるリンパ節数と比較します。</p> <p>研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手、閲覧を希望される場合は、愛知医科大学 問い合わせ先までご連絡ください。</p> <p>〔他の機関へ提供される場合はその方法〕</p> <p>共同研究機関へのデータ受け渡しは、保管用とは別のハードディスク(補助記憶装置)で、郵送で行います。</p>
利用又は提供する試料・情報の項目	試料：御献体 情報：年齢・性別・献体登録時の情報等
試料・情報の提供を行う機関の名称及び	国立がん研究センター東病院 大津 敦 静岡県立静岡がんセンター 上坂 克彦

その長の氏名	
提供する試料・情報の取得の方法	試料：提供しない 情報：献体登録時の情報から取得
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究機関名・研究責任者名	国立がん研究センター東病院 頭頸部外科 富岡利文 静岡県立静岡がんセンター 頭頸部外科 向川卓志
利用する者の範囲	国立がん研究センター東病院 頭頸部外科 富岡利文 静岡県立静岡がんセンター 頭頸部外科 向川卓志
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2025年5月31日までに郵送、電話にて下記問い合わせ先まで申し出てください。本研究に 対象となる全ての方に対応いたします。
問い合わせ先	愛知医科大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科講座 担当者：(職名)講師 (氏名)丸尾 貴志 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22173)